

# 心を育てる ～環境教育と子どもたち～



滋賀県教育委員会

委員長 高橋 啓子

## 新

しい世紀の幕開けとしての二〇〇一年、十月には第四回全国環境学習フェアが滋賀県で開催され、そのなかで児童生徒の部として「うみのこ」での琵琶湖学習や子ども環境会議などが注目されました。

また、十一月には第九回世界湖沼会議のなかの特別セッション「子ども湖沼会議」ではいろいろな国の子どもたちが、自分たちの視点で環境について意見交換をしました。恵まれた自然を活かし、総合学習やボランティア活動などさまざまな機会に「自分」と「環境」について学習し、体感として身につけているベースがある滋賀の子どもたちにとって大変に良い「場」ではなかったかと思えます。

ものを大切にすること、省エネルギーに努めることは、豊かといわれながら資源の少ない日本が世界の国を大切にすることにつながることを、子どもたちはしっかりと理解していくと思います。琵琶湖に育つ子どもたちは、自分たちの環境を守る

ことで、多くの人々の生活の水をも守っていることに誇りと自信を持ってくれると思います。清掃活動に汗する子どもたちの姿を見ていると、環境問題を考え実践することは、この問題であり人権の問題であることを学んでほしいと思います。

どういふ社会でどんな生き方をしたいのかという、自己から他者への表現、アピールでもあります。そして、それは電車の中でのマナーの問題でもあり、モラルや人間性の問題であり、日本という国の姿の問題でもあります。まず、わたしたち大人が、しっかりとした社会を子どもたちにバトンタッチしたいものです。子どもは「教えられたこと」より自分が感じたことを「学ぶ」ということを忘れないでおこうと思っ



### 筆者Profile

昭和44年 同志社大学文学部卒業。平成3年 臨床心理士。  
滋賀県スクールカウンセラー、滋賀県教育委員会委員、聖泉短期大学非常勤講師を経て、現在、滋賀県教育委員会委員長。